

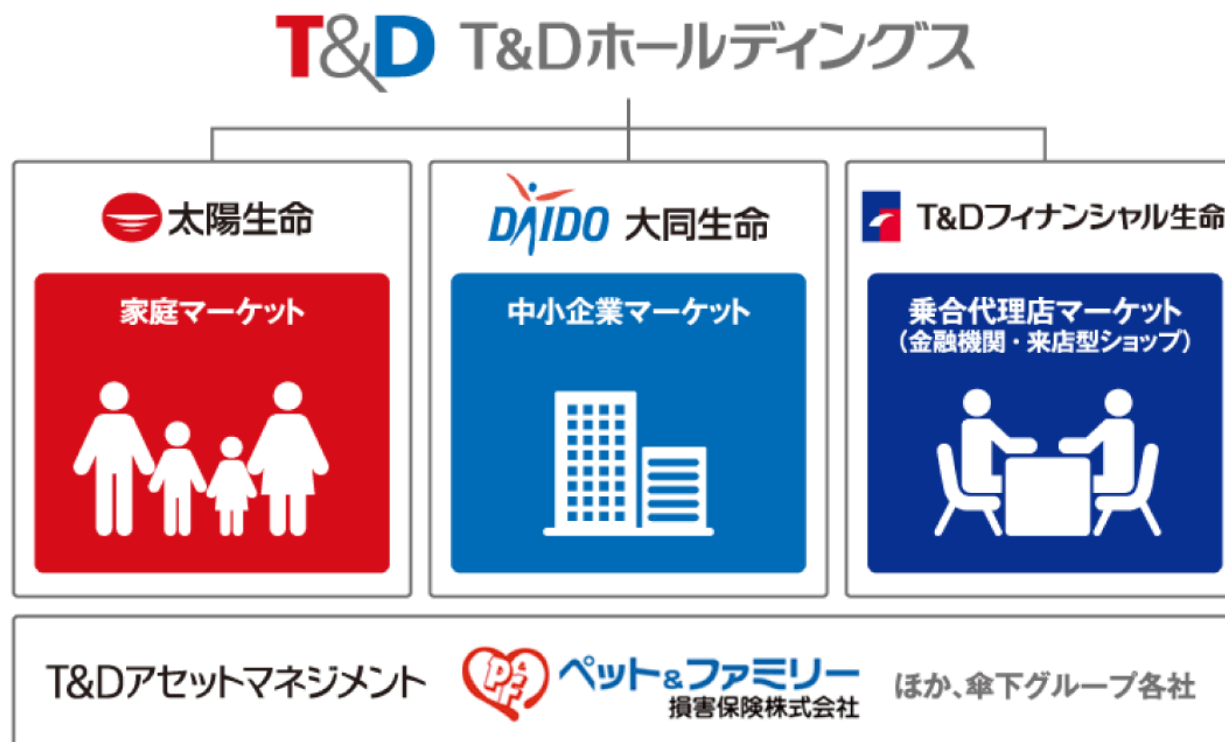
# T&D

T&D保険グループ  
2019年3月期決算のお知らせ

2019年5月15日

株式会社 T&Dホールディングス





T&D保険グループのT&Dホールディングス傘下には、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の生保3社のほか、資産運用関連事業を担うT&Dアセットマネジメントやペット保険を取扱うペット&ファミリー損害保険等のグループ会社があります。

<本資料における計数の定義>

連結	: T&Dホールディングス(連結)
中核生保3社	: 太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命
3社合算	: 中核生保3社の単純合算

# T&D保険グループ決算の概況

## ■ 連結損益

(単位:億円)

	2018/3期	2019/3期
経常収益	19,283	21,401
経常利益	1,564	1,469
親会社株主に帰属する 当期純利益	775	728

1株当たり当期純利益	124 円 23 銭	118 円 50 銭
自己資本当期純利益率	6.9 %	6.3 %

## ■ 1株当たり年間配当金

	2018/3期	2019/3期
第2四半期末	17 円 50 銭	20 円 00 銭
期末	20 円 00 銭	22 円 00 銭
合計	37 円 50 銭	42 円 00 銭

配当金総額(合計)	233 億円	257 億円
-----------	--------	--------

配当性向(連結)	30.2 %	35.4 %
----------	--------	--------

## ■ エンベディッド・バリュー

(単位:億円)

	2018/3末	2019/3末
Group MCEV	24,067	23,706

(単位:億円)

	2018/3期	2019/3期
新契約価値(3社合算)	1,294	1,403

## ■ 契約業績等

(単位:億円)

	2018/3期	2019/3期
新契約年換算保険料(3社合算)	1,203	1,588

(単位:億円)

	2018/3末	2019/3末
保有契約年換算保険料(3社合算)	15,060	15,495

(単位:億円)

	2018/3期	2019/3期
基礎利益(3社合算)	1,484	1,496

## 1. 契約業績

- ・新契約年換算保険料は、個人定期保険や介護保障商品の販売増加により前期から増加。第三分野の新契約年換算保険料も前期から増加。
- ・保有契約年換算保険料、第三分野の保有契約年換算保険料とも前期から増加。

## 2. グループ連結損益

- ・経常収益は、保険料等収入が増加したこと等により前期から増加。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は、利息及び配当金等収入の増加等があったものの、為替ヘッジコスト上昇等による金融派生商品費用の増加等により前期から減少。

## 3. EV(エンベディッド・バリュー)

- ・新契約価値は、販売増加等により前期から増加。
- ・Group MCEVは、新契約価値の積み上げがあったものの、国内金利の低下、国内株価の下落等により前期末から減少。

## 4. 株主還元

- ・1株当たり年間配当金(予定)は42.0円(うち期末配当金22.0円)、前期から4.5円増配予定。130億円の自己株式の取得を実施予定。2019年3月期の総還元性向は実質利益※の49.3%。  
なお、2020年3月期の1株当たり年間配当金予想は44.0円。

※ 実質利益は、当期純利益に、負債性内部留保(危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額)のうち法定基準繰入額を超過した額(税引後)を加算して算出。

# 契約業績:新契約(個人保険・個人年金保険)



(単位: 億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2019/3期	前期比	2019/3期	前期比	2019/3期	前期比	2019/3期	前期比
新契約年換算保険料	1,588	+384 (+32.0%)	386	+112 (+40.9%)	1,086	+302 (+38.6%)	115	△ 29 (△ 20.6%)
うち 第三分野	589	+205 (+53.7%)	163	+30 (+22.9%)	423	+174 (+70.3%)	2	+0 (+33.3%)
新契約高	56,812	+6,443 (+12.8%)	11,966	△ 4,901 (△ 29.1%)	41,704	+11,749 (+39.2%)	3,141	△ 405 (△ 11.4%)

\* 新契約には、転換による純増加を含んでおります。

\* 大同生命の「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリース」と「介護定期保険」の介護保険金額を計上した場合の3社合算の新契約高は9兆9,857億円(前期比+37.3%)、大同生命の新契約高は8兆4,748億円(前期比+62.0%)。

# 契約業績: 保有契約(個人保険・個人年金保険)



(単位: 億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2019/3末	前期末比	2019/3末	前期末比	2019/3末	前期末比	2019/3末	前期末比
保有契約年換算保険料	15,495	+434 (+2.9%)	6,139	△ 44 (△ 0.7%)	8,203	+487 (+6.3%)	1,152	△ 8 (△ 0.7%)
うち 第三分野	2,510	+390 (+18.4%)	1,107	+50 (+4.8%)	1,376	+340 (+32.8%)	25	+0 (+1.1%)
保有契約高	602,497	△ 6,197 (△ 1.0%)	199,456	△ 12,088 (△ 5.7%)	381,311	+4,688 (+1.2%)	21,729	+1,202 (+5.9%)

\* 大同生命の「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフ」と「介護定期保険」の介護保険金額を計上した場合の3社合算の保有契約高は69兆2,646億円(前期末比+4.9%)、大同生命の保有契約高は47兆1,460億円(前期末比+10.1%)。

(単位: 億円)

	2018/3期	2019/3期	前期比	
<b>経常収益</b>	<b>19,283</b>	<b>21,401</b>	+2,118	(+11.0%)
うち保険料等収入	14,837	16,761	+1,924	(+13.0%)
うち資産運用収益	3,727	3,939	+211	(+5.7%)
うち利息及び配当金等収入	2,854	2,958	+103	(+3.6%)
うちその他経常収益	718	700	△ 17	(△ 2.4%)
<b>経常費用</b>	<b>17,718</b>	<b>19,932</b>	+2,213	(+12.5%)
うち保険金等支払金	11,461	11,416	△ 45	(△ 0.4%)
うち責任準備金等繰入額	2,628	4,696	+2,067	(+78.6%)
うち資産運用費用	962	1,122	+159	(+16.6%)
うちその他経常費用	641	680	+39	(+6.1%)
<b>経常利益</b>	<b>1,564</b>	<b>1,469</b>	△ 95	(△ 6.1%)
特別利益	0	6	+6	(-)
特別損失	165	185	+20	(+12.6%)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	303	271	△ 31	(△ 10.5%)
税金等調整前当期純利益	1,096	1,019	△ 77	(△ 7.1%)
法人税等合計	320	290	△ 29	(△ 9.3%)
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	<b>775</b>	<b>728</b>	△ 47	(△ 6.1%)

## 主な要因

介護保障商品等の販売増加

外国証券利息配当金等の増加

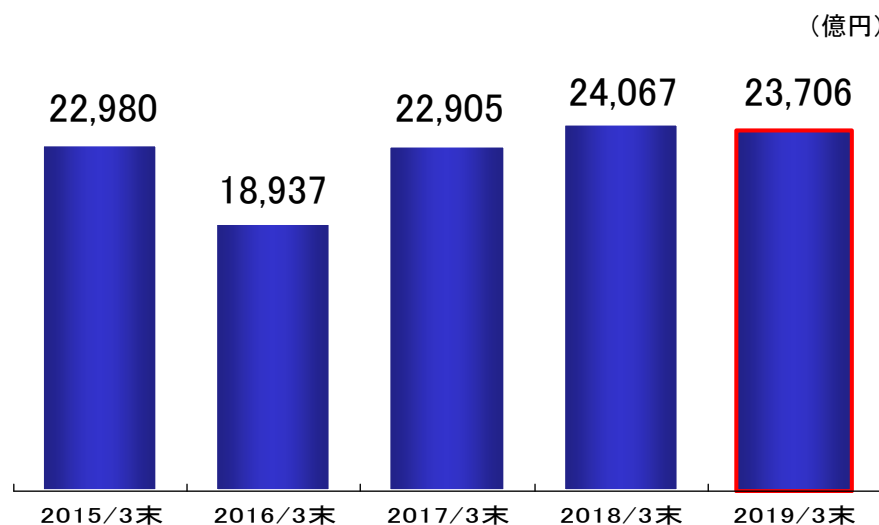
新契約の増加による

為替ヘッジコスト上昇等による金融派生商品費用の増加

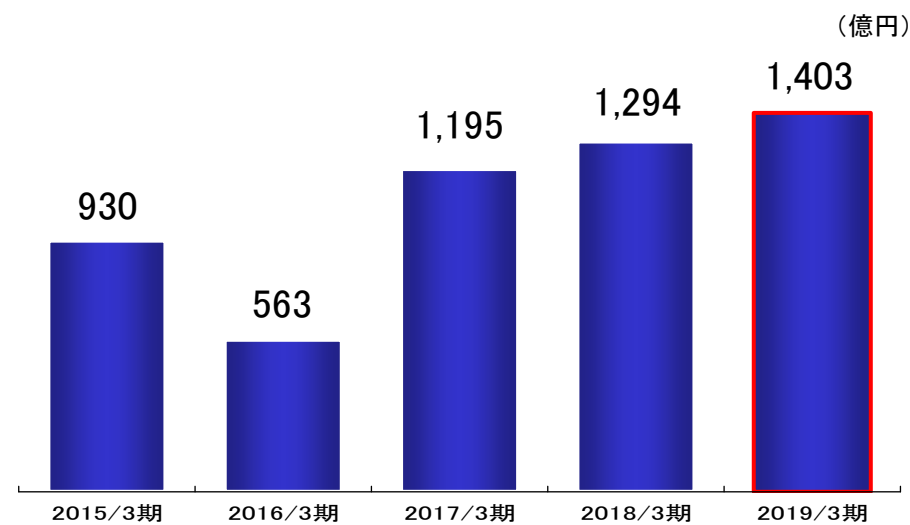
\* 保険料等収入の3社合算は1兆6,709億円(前期比+13.0%)です。

# 市場統合的エンベディッド・バリュー：MCEV[速報]

Group MCEV



新契約価値(グループ全体)



(単位: 億円)

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2019/3末	前期末差	2019/3末	前期末差	2019/3末	前期末差	2019/3末	前期末差
MCEV	23,706	△ 361	8,562	+311	14,177	△ 554	985	△ 40

(単位: 億円)

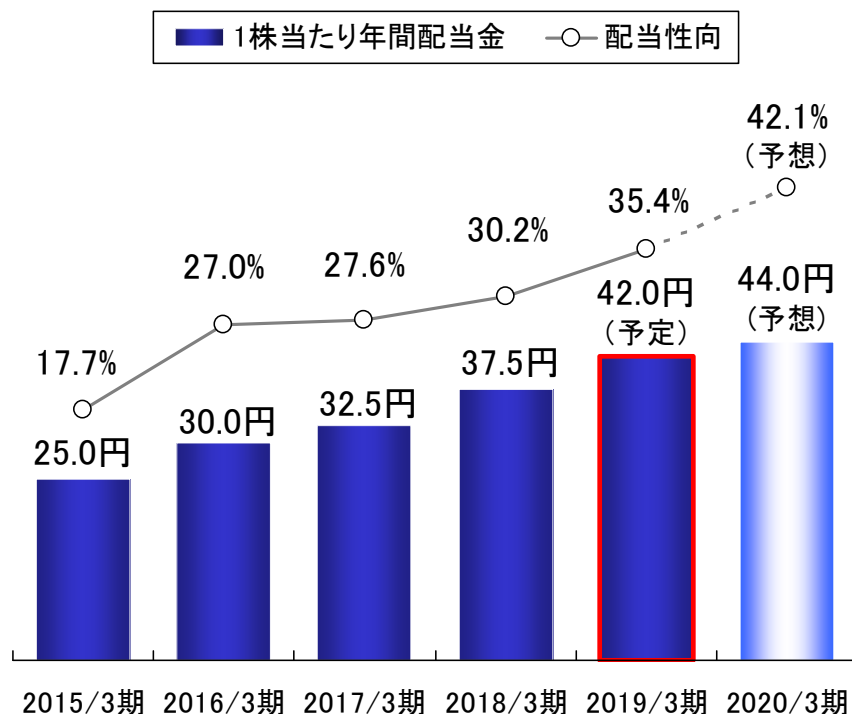
	T&D保険グループ全体 (3社合算)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2019/3期	前期差	2019/3期	前期差	2019/3期	前期差	2019/3期	前期差
新契約価値	1,403	+108	553	+143	848	+6	1	△ 41

- \* 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV(エンベディッド・バリュー)」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したものです。
- \* 新契約価値は、当期中に販売した新契約(転換契約を含む)の価値を表したものです。
- \* Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(2兆3,427億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(278億円)」の合計額です。

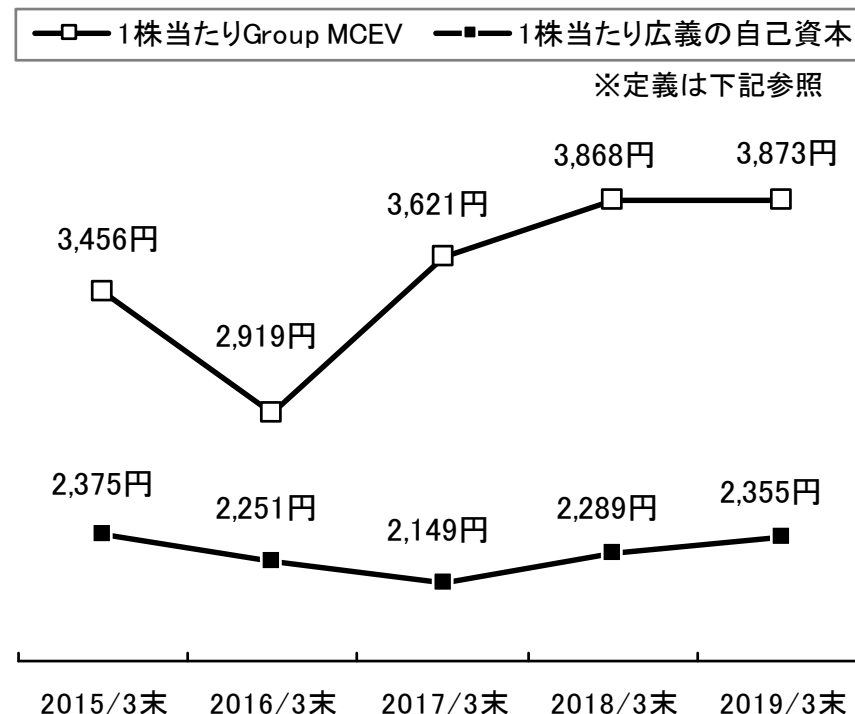


## 1株当たり指標

### 現金配当



### 企業価値



- 1株当たり年間配当金は、4期連続の増配となる42.0円を予定。配当性向は35.4%。  
なお、2020年3月期の1株当たり年間配当金予想は、5期連続の増配となる44.0円(うち中間配当22.0円)。
- 内部留保の積み上げおよび継続的な自己株式の取得により、1株当たりGroup MCEVは3,873円、1株当たり広義の自己資本は2,355円。

※ 1株当たり Group MCEV =  $\frac{\text{Group MCEV}}{\text{発行済株式総数(自己株式を除く)}}$       1株当たり広義の自己資本 =  $\frac{\text{純資産+(価格変動準備金、危険準備金、貸倒引当金)}}{\text{発行済株式総数(自己株式を除く)}}$

\* 純資産は、純資産の部合計から新株予約権、非支配株主持分を控除して算出。  
価格変動準備金、危険準備金、貸倒引当金は、税引後で算出。

# 中期経営計画(2017-2019/3期)の目標指標と実績

## ■ グループ連結の主要経営指標

	主要経営指標	中期経営計画目標		実績	
		企業価値(EV)	Group MCEV	2019/3末	2兆4,000億円
	新契約価値	2019/3期	1,000億円	2019/3期	1,403億円
利益(財務会計)	実質利益※	2017-2019/3期	850億円 程度	2019/3期	785億円
				2018/3期	833億円
				2017/3期	917億円
				2017-2019/3期	3年平均 845億円

※ 実質利益は、当期純利益に、負債性内部留保(危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額)のうち法定基準繰入額を超過した額(税引後)を加算して算出。

	株主還元方針	実績	
		株主還元	「現金配当」+「自己株式の取得」により、 実質利益の40%以上の還元
		2018/3期	総還元性向 実質利益の48.4%
		2017/3期	総還元性向 実質利益の40.9%

## 2020年3月期 通期業績予想

### ■ T&Dホールディングス連結

(単位:億円)

	2019年3月期実績	2020年3月期予想
経常収益	21,401	21,100 程度
経常利益	1,469	1,220 程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	728	640 程度

2019年3月期の1株当たり年間配当金(予定)は、2019年4月25日公表分から修正ありません。

	2019年3月期予定	2020年3月期予想
1株当たり年間配当金	42.0円(うち中間配当20.0円)	44.0円(うち中間配当22.0円)

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の2020年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位:億円)

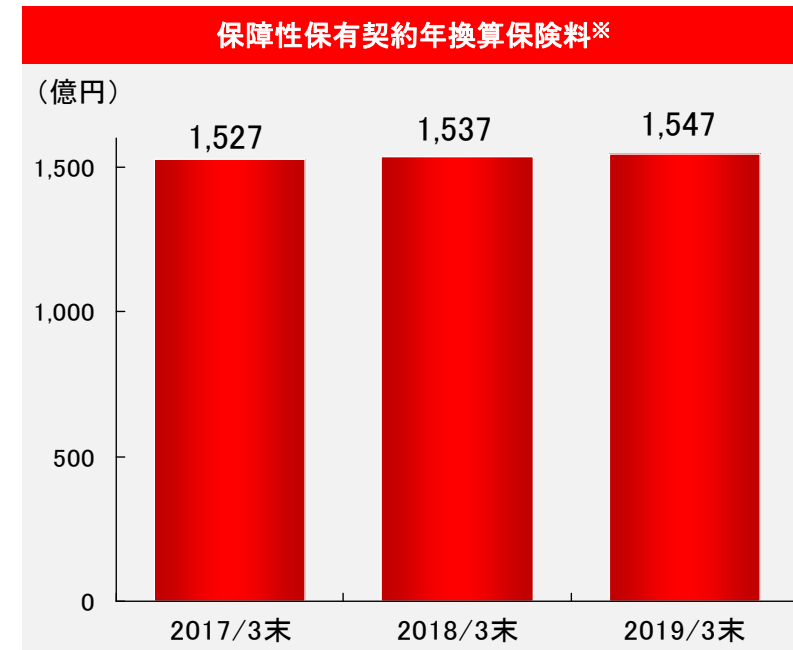
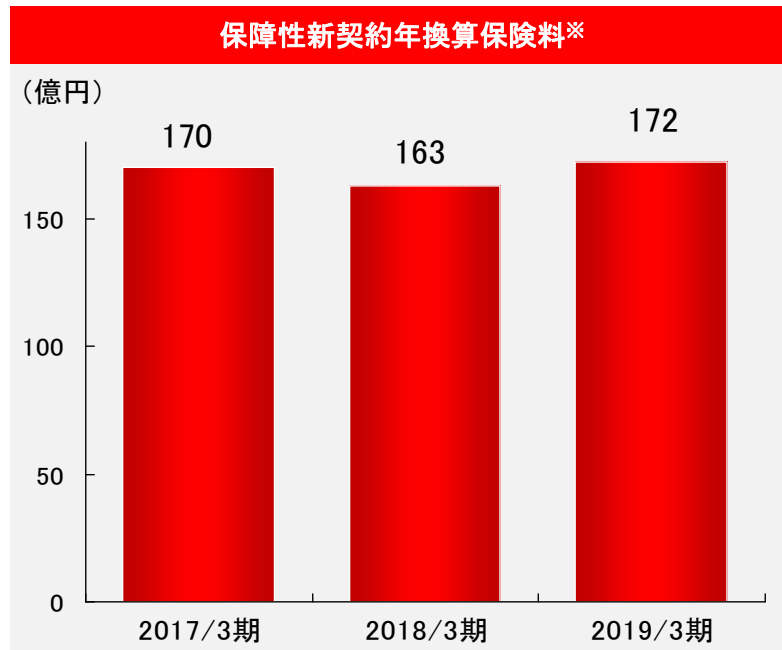
	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	8,400 程度	10,100 程度	2,300 程度
経常利益	370 程度	840 程度	0 程度
当期純利益	150 程度	490 程度	△10 程度

\* 連結と生命保険会社3社合計との差額は、3社以外の連結子会社ならびに連結会社相互間の調整等によるものです。

※ 実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

## 【参考】太陽生命の主要ポイントと状況

- 「働けなくなったときの保険[I型]」、「ひまわり認知症予防保険」の販売が堅調。



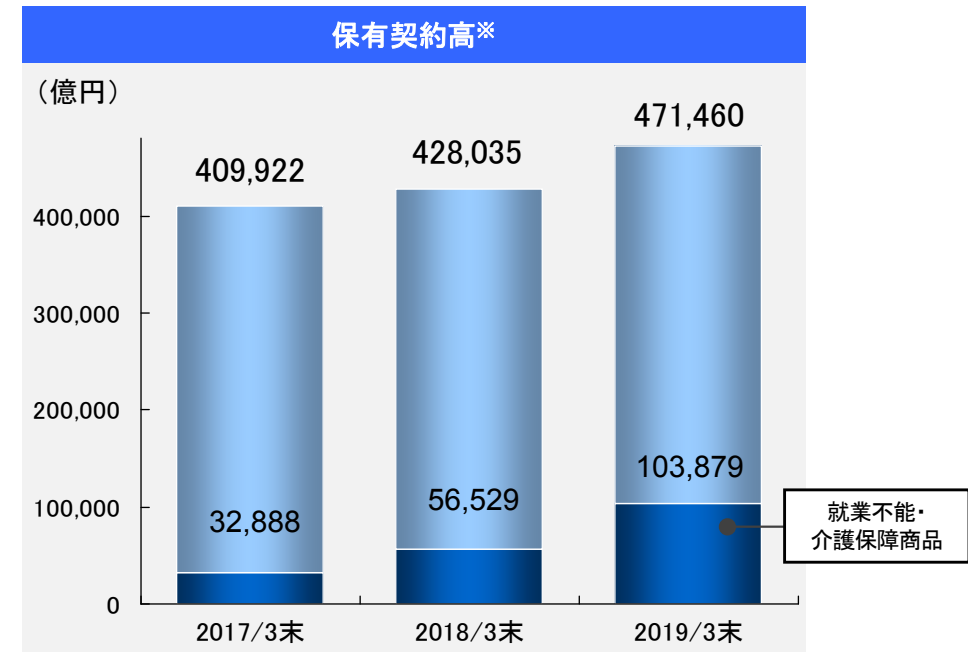
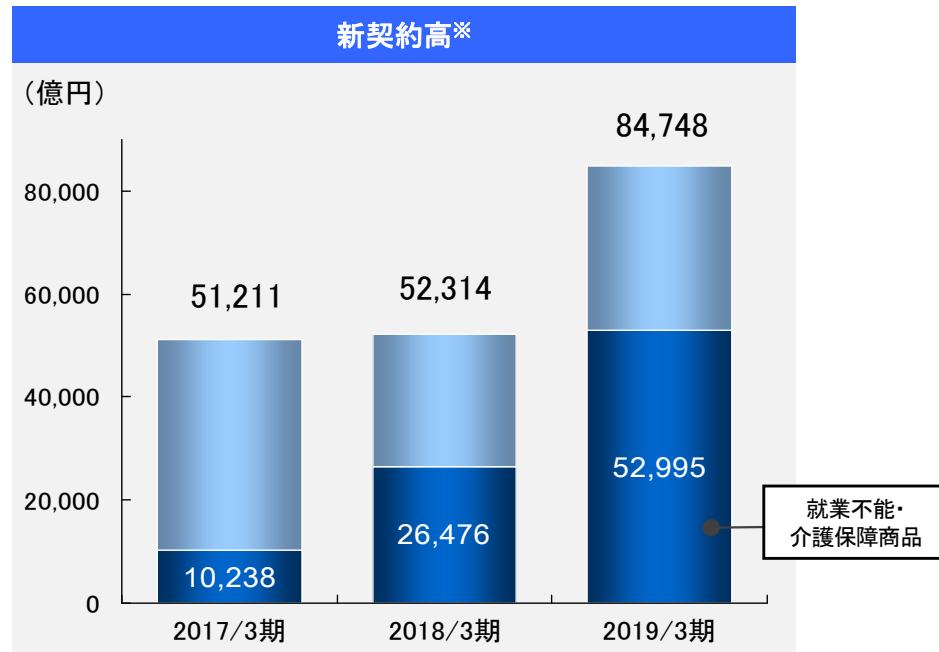
- 保障新契約年換算保険料※は172億円と、前期から5.3%の増加。  
これは主に、2018年4月にリニューアルした「働けなくなったときの保険[I型]」、2018年10月より発売した「ひまわり認知症予防保険」の販売が堅調だったことによる。
- 保障保有契約年換算保険料※は1,547億円、前期から0.6%の増加。

※ 保障年換算保険料(太陽生命独自の指標)とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保険料の合計。  
同指標の伸展は「EVの伸展」に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視する指標。

- ・ 2018年10月より、認知症になった場合の保障に加え、「認知症にならないための予防」の段階からお客様をサポートする保険として、「ひまわり認知症予防保険」を発売。販売件数は5万件超(2019年4月1日時点)。

## 【参考】大同生命の主要ポイントと状況

- 死亡保障商品、就業不能・介護保障商品の契約高が増加。



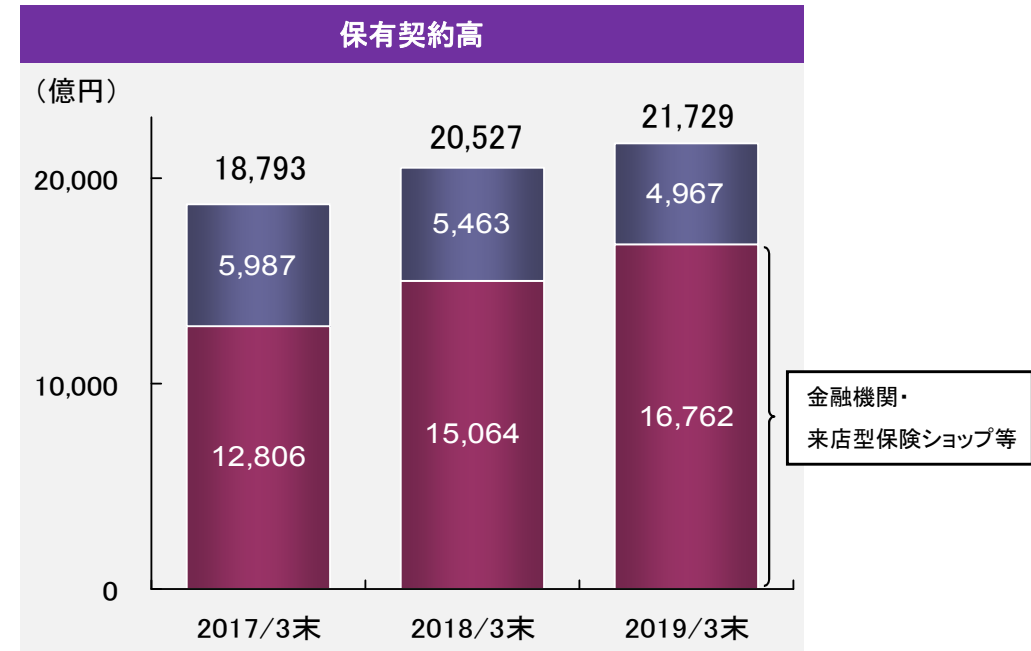
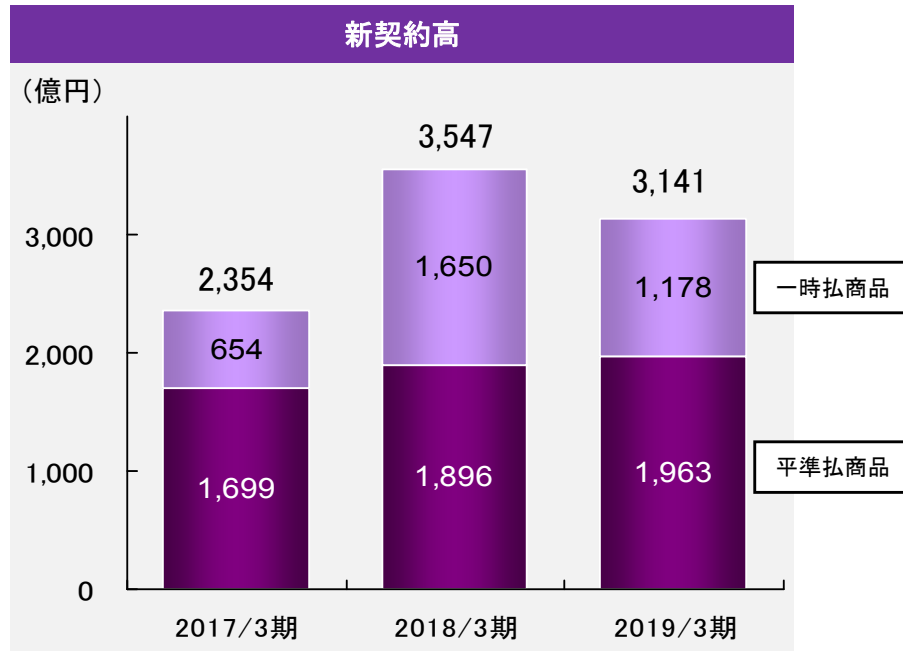
- 2018年4月の料率改定により、死亡保障商品であるRタイプや、収入リリーの保険料が低廉となり新契約高が増加。また、就業不能リスクに対応した商品(就業不能・介護保障商品)の新契約高も増加。
- 保有契約高※は47兆1,460億円と、前期末から10.1%の増加となった。

※ 個人保険・個人年金保険の新契約高(4兆1,704億円)および保有契約高(38兆1,311億円)に、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフ」と「介護定期保険」の介護保険金額を計上した場合の新契約高・保有契約高。

- ・ 死亡・就業不能リスクや必要資金準備に対応した企業保障のご提供を通じて、接点を有する経営者ご自身への「個人保障」をご提供することにより、「法人・個人のトータル保障」の提案を推進。
- ・ “トータル保障”の推進に加え、「経営支援」「健康支援」など情報・サービスの提供により、当社の主要なお客さまである中小企業を多角的にサポート。

【参考】T&Dフィナンシャル生命の主要ポイントと状況

- 新契約高は前期を下回ったものの、保有契約高は着実に伸展。



- 新契約高は3,141億円、前期から11.4%の減少。なお、平準払商品は前期から3.5%の増加。
- 保有契約高は2兆1,729億円、前期末から5.9%の増加。

- ・ 平準払商品「家計にやさしい収入保障」の販売が堅調に推移し、保有契約高が前期末から5.9%の増加と着実に伸展。
- ・ 「多様化するお客さまニーズを取り込んだ商品の開発」「代理店の開拓・拡大」「お客さまサービスの向上」を推進していく。

# 参考データ(損益関係)

(単位:億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2019/3期	前期比	2019/3期	前期比	2019/3期	前期比	2019/3期	前期比
<b>経常収益</b>	<b>21,401</b>	+2,118 (+11.0%)	<b>9,176</b>	+1,788 (+24.2%)	<b>10,455</b>	+574 (+5.8%)	<b>1,507</b>	△ 457 (△ 23.3%)
うち保険料等収入	16,761	+1,924 (+13.0%)	7,151	+2,032 (+39.7%)	8,280	+371 (+4.7%)	1,278	△ 486 (△ 27.6%)
うち資産運用収益	3,939	+211 (+5.7%)	1,904	+9 (+0.5%)	1,910	+192 (+11.2%)	172	+42 (+32.7%)
うち利息及び配当金等収入	2,958	+103 (+3.6%)	1,435	+58 (+4.3%)	1,454	+36 (+2.6%)	83	+9 (+12.3%)
うちその他経常収益	700	△ 17 (△ 2.4%)	120	△ 252 (△ 67.7%)	264	+11 (+4.4%)	56	△ 13 (△ 19.2%)
<b>経常費用</b>	<b>19,932</b>	+2,213 (+12.5%)	<b>8,634</b>	+1,874 (+27.7%)	<b>9,562</b>	+576 (+6.4%)	<b>1,486</b>	△ 452 (△ 23.3%)
うち保険金等支払金	11,416	△ 45 (△ 0.4%)	5,214	△ 12 (△ 0.2%)	5,105	+142 (+2.9%)	1,068	△ 180 (△ 14.5%)
うち責任準備金等繰入額	4,696	+2,067 (+78.6%)	1,836	+1,828 (-)	2,590	+262 (+11.3%)	267	△ 233 (△ 46.6%)
うち資産運用費用	1,122	+159 (+16.6%)	523	+70 (+15.7%)	613	+151 (+32.7%)	19	△ 29 (△ 60.3%)
うちその他経常費用	680	+39 (+6.1%)	291	△ 11 (△ 3.8%)	214	+16 (+8.5%)	16	+0 (+1.2%)
<b>経常利益</b>	<b>1,469</b>	△ 95 (△ 6.1%)	<b>541</b>	△ 85 (△ 13.7%)	<b>892</b>	△ 1 (△ 0.1%)	<b>20</b>	△ 4 (△ 18.9%)
特別利益	6	+6 (-)	1	+1 (+485.0%)	4	+4 (+789.5%)	-	- (-)
特別損失	185	+20 (+12.6%)	55	+12 (+29.0%)	124	+7 (+6.0%)	5	+0 (+19.6%)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	271	△ 31 (△ 10.5%)	131	△ 25 (△ 16.1%)	140	△ 6 (△ 4.5%)	0	+0 (-)
税金等調整前当期純利益	1,019	△ 77 (△ 7.1%)	356	△ 71 (△ 16.8%)	633	+2 (+0.4%)	15	△ 5 (△ 27.4%)
法人税等合計	290	△ 29 (△ 9.3%)	101	△ 22 (△ 18.2%)	177	△ 6 (△ 3.7%)	5	+0 (+1.1%)
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	<b>728</b>	△ 47 (△ 6.1%)	<b>255</b>	△ 49 (△ 16.2%)	<b>455</b>	+9 (+2.1%)	<b>10</b>	△ 5 (△ 36.3%)

\* T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の合算とは必ずしも一致いたしません。

\* 保険料等収入の3社合算は1兆6,709億円(前期比+13.0%)です。

\* 特別損失(185億円)のうち、154億円は価格変動準備金の繰入(太陽生命:36億円、大同生命:112億円、T&Dフィナンシャル生命:5億円)です。

\* 税金等調整前当期純利益の生命保険会社3社欄の数値は、税引前当期純利益を記載しております。

\* 親会社株主に帰属する当期純利益の生命保険会社3社欄の数値は、当期純利益を記載しております。

## 参考データ(その他の指標等)

### ■ 基礎利益

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2019/3期	前期比	2019/3期	前期比	2019/3期	前期比	2019/3期	前期比
基礎利益	1,496	+11 (+0.8%)	518	+33 (+6.8%)	992	△ 15 (△ 1.5%)	△ 14	△ 6 (-)
順ざや額(△逆ざや額)	542	+118 (+28.0%)	196	+79 (+68.9%)	367	+34 (+10.2%)	△ 20	+4 (-)

### ■ 有価証券等の差損益(一般勘定)

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2019/3末	前期末差	2019/3末	前期末差	2019/3末	前期末差	2019/3末	前期末差
有価証券の差損益	12,644	+962	5,752	+257	5,448	+321	1,443	+383
うち公社債	8,480	+977	4,029	+362	3,718	+555	732	+59
うち株式	2,352	△ 1,068	944	△ 506	1,408	△ 562	-	-
うち外国証券	856	+1,037	566	+449	261	+564	29	+22
土地等の差損益	1,177	+274	583	+141	593	+133	-	-

\* 有価証券の差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

\* 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

### ■ ソルベンシー・マージン比率と実質純資産

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2019/3末	前期末差	2019/3末	前期末差	2019/3末	前期末差	2019/3末	前期末差
ソルベンシー・マージン比率	1,093.1%	31.3ポイント上昇	849.7%	14.6ポイント上昇	1,271.9%	65.7ポイント上昇	1,101.7%	156.6ポイント低下

(単位:億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2019/3末	前期末差	2019/3末	前期末差	2019/3末	前期末差	2019/3末	前期末差
実質純資産	28,963	+1,887	11,114	+553	15,333	+1,039	2,329	+356





2019年4月1日に設立15周年を迎えました

## 株式会社 T&Dホールディングス

 **太陽生命**  
1893年 創業



太陽生命旧本社（東京都）  
1930年竣工

 **大同生命**  
1902年 創業



大同生命旧肥後橋本社（大阪府）  
1925(大正14)年竣工

1999年 T&D保険グループ発足

太陽生命と大同生命が全面的な業務提携を発表、グループ名称を「T&D保険グループ」に決定

2001年 T&D保険グループ入り

 **T&Dフィナンシャル生命**



太陽生命・大同生命が共同でT & D  
フィナンシャル生命（旧 東京生命）  
の株式を取得、同社はT & D保険グ  
ループの一員として業務を開始

2002年  
大同生命が株式会社に組織変更

2002年  
グループの資産運用会社を集約  
T&Dアセットマネジメント

2007年 ペット保険会社を子会社化  
ペット&ファミリー少額短期保険

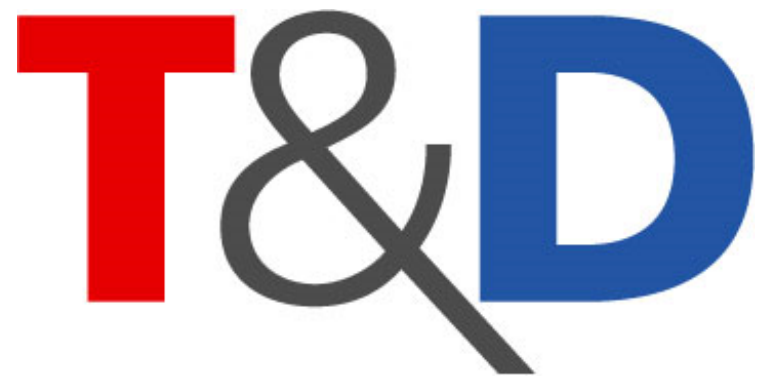
 **ペット&ファミリー**  
損害保険株式会社

2004年 設立 **T&Dホールディングス**

日本で初めて生命保険事業を中核とする持株会社を設立し、  
東京証券取引所と大阪証券取引所（現 大阪取引所）に上場



2019年4月 少額短期保険会社から損害保険会社に移行



T&D保険グループ

【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報課 井本・勝呂	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課 秋山	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課 筑摩	TEL 03-3272-6206
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課 高橋	TEL 03-6745-6808